

(兼題)

「選ぶ」

今岡 健柳 選

佳句

七十年選んだ道に山野草
喜寿間近選んだ道に悔いはない
無駄な枝剪^きつて選んだ天地人
順番で品物選ぶじゃんけんぽん
不細工も選ばれたなら咲いてみる

あけ美 のぼる 寿美 洋子
らんまん

人

選ばれた人も人なり持つ悩み

竹治ちかし

地

四億の中選ばれし我ならば

西坂 瑞人

天

逃げ道を選んでおいて子に諭す

竹治ちかし

軸吟

選んでもいないが縁の五十年

今岡 健柳

(兼題)

「期待」

吉川らんまん 選

佳句

期待した返事は首を横に振る
期待した程で無かった旅の宿
誰よりも自分に期待するわたし
甘い香り期待を込めて めろん
トキの舞う日本に期待する出雲

たえこ 敬子 瑞人
あけ美 ちかし

人

夢多く期待ふくらむ宝くじ

桐原 洋子

地

満開を夢見一枝挿し木する

佐藤あけ美

天

親と子の期待が詰まるランドセル

西坂 瑞人

軸吟

ポット苗期待通りの森つくる

吉川らんまん

(兼題)

「こぼす」

小豆沢歌子 選

佳句

甲子園こぼす涙が光ってる
笑みこぼす君が女神に見えてくる
愚痴こぼす相手あつての辛を知る
平凡な暮らしの中でこぼす愚痴
軽い気持でこぼしたグチが騒ぎだす

のぼる 瑞人 ちかし 敬子
たえこ

人

進まぬと愚痴をこぼしているノート

岡 あきら

地

ゆつくりと心満してこぼす秋

秋山 久子

天

こぼれ落ちた言葉こっそり歩き出す

伊藤 寿美

軸吟

愚痴こぼすもう止めようか陽も昇る

小豆沢歌子

(席題)

「休む」

竹治ちかし 選

人

ひと休みしたら元気の出るお口

小豆沢歌子

地

晩酌を休むだあれも喜ばぬ

岡 あきら

天

休まねば明日の元気湧いて来ぬ

小豆沢歌子

軸吟

神様が休めと呉れた夏の風邪

竹治ちかし